

図書館だより

天理高校 図書館 2024年9月



読書の秋の始まりです

9月というのに、まだまだ真夏のような暑さが続いています。みなさん、いかがお過ごしですか。2学期も新着本や、特別展示本など、どんどん本を紹介したいと思っています。読みたい本があれば、遠慮なくリクエストしてくださいね。

特集①は「先生方からのおすすめ本」

今月は、教義科 西尾弘喜先生からの「おすすめ本」を紹介します。

特集②は「スポーツ小説」特集

もうすぐ天高祭ですね。2日めに、体育祭がありますね。みなさんに読んでほしい、スポーツをテーマにした本を紹介します。

図書館からのお願い

1学期長期貸出で借りた本の返却をお願いします。返却場所は、返却ポスト、カウンターどちらでもかまいません。ご協力をお願いします。2学期も、図書館をどうぞご利用ください。



「スポーツ小説」特集!!

「風が強く吹いている」 三浦しをん 著



「スポーツをテーマにした本は?!」と聞かれると、まず思い浮かべる大好きな作品です。駅伝の奥深さをこの作品から知り、まったく駅伝に興味なかった私ですが、読み終わる頃には、駅伝マニアのような博識を身に着けたと勘違いしてしまいました。最後のレースの場面は圧巻です。自分もその場にいるような臨場感をもって読むことができます。2009年の作品ですが、今も色褪せないみずみずしさは、令和を生きるみなさんにも、自信をもっておすすめできる作品です。

「俺たちの箱根駅伝」 上・下 池井戸潤 著



駅伝つながり、もう1冊。「やられたら、やり返す!倍返しだ!!」というフレーズで、平成のTVドラマ史上に名を残した「半沢直樹」シリーズの作者 池井戸潤さんが、今度は駅伝をテーマに小説を書きました。この作品は、選手目線だけでなく、中継するテレビ局を巻き込んだ話になっています。池井戸作品の特徴は、読了後の爽快感です。この作品も、期待を絶対裏切らないものになっています。

「もし高校野球のマネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」 岩崎夏海 著



この本は、2009年に出版され、一大ムーブメントを巻き起こしたベストセラー小説です。高校野球のマネージャーが、タイトル通りドラッカーの「マネジメント」というビジネス書を読んで、野球部をどうやって強くしていくかという物語です。実際の「マネジメント」は、分厚く難しそうですが、この本なら、大まかな内容がわかるので、経営や組織作りに興味のある人、また、自分の所属する部活を活性化したいと思っている人にはピッタリの本です。今年度の「高校生に読んでほしい50冊(新潮文庫)」の中の1冊にも選ばれていて、15年たっても自信をもっておすすめできる本です。

「先生方からのおすすめ本」特集!!

『ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」』

荒木 香織 講談社

☆あらすじ☆

「アスリートはもともとメンタルが強い」と思っている人が多いと思いますが、決してそんなことはありません。メンタルを鍛えることで、最高のパフォーマンスを発揮できたり、困った時に挽回するスピードを早めることができます。“平常心”は、いい結果を生まない。“緊張するからうまくいく” “自信がある人になる方法” “あえてグレーゾーンをつくる”など、本の内容は、興味深いものが多く、気軽に読むことができます。

☆おすすめポイント☆

覚えている人も多いと思いますが、2015年にイングランドで行われた第8回ラグビーワールドカップにおいて、日本は、過去2回優勝し、いつも優勝候補にあげられる南アフリカを、終了間際のトライで逆転し勝利を収めました。この勝利は多くの国民に感動を与えました。その時、日本代表のメンタルトレーナーとして帯同した荒木香織さんが書かれた内容は、部活動で日々生懸命活動している皆さんにとって、とても良い勉強になるはず。良い結果を生み出す上で、スポーツだけでなく日常生活においてもメンタル=精神力はとても重要となります。どこから読んででも非常にわかりやすい言葉で書かれていて、納得できる内容になっています。「メンタルが弱い」と悩んでいる人、ぜひ手に取って読んでみてください。

(教義科 西尾弘喜先生)



「武士道シックスティーン」 誉田 哲也 著

中3の時に参加した剣道大会で出会った二人の高校部活青春小説です。部活動を続けて行く中で、挫折、喜び、悲しさや、寂しさ、高校生活の中で経験する自分ではどうにもできない感情が、この作品に凝縮されています。「セブティーン」「エイティーン」とそれぞれの学年での話になっているので、剣道部はもちろんですが、そうでないみなさんの思いにも寄り添った作品になっています。